# ４章 ワンストップ事業モデル

第４章では本実験事業で得られた情報と成果・課題を踏まえて、地域において相談窓口を実施するための効果的な実施モデルをとりまとめた。

## ４－１ワンストップ窓口事業実施のステップ

本事業で得られた結果から導き出されたコミュニティビジネスワンストップ相談窓口実施モデルは、以下の通りである。

**【ステップ１　地域に基盤を作る】**

・事務局組織化
・関係者の組織化、啓蒙
・地域のキーマン（個人、ネットワーク）発掘
・アドバイザー選任、養成

▼

**【ステップ２　窓口開催への助走】**

・相談窓口実施場所の確保
・実施スケジュール決定
・アドバイザー担当体制の決定
・情報収集、情報提供システムの整備
・各種ツール作成
・広報
・コミュニティビジネス起業、就業予備軍の発掘

▼

**【ステップ３　窓口業務実施】**

・予約受付
・エントリーシート送付、回収
・相談マッチング
・相談（相談シート作成）
・アドバイスシート作成
・進捗状況把握
・フォロー

▼

**【ステップ４　分析、フィードバック】**

以下に、各ステップのポイントをまとめる。

## １．ステップ１　地域に基盤を作る

### (1) 事務局組織化

相談窓口を実施するにあたって必要な業務を責任をもって進行させる事務局を組織化する。

事務局を担当するのは行政（都道府県、市町村)、ハローワークなどの既存の窓口、NPO などの地域の中間支援組織が考えられる。業務としては、地域の関係者やキーマンのネットワーク作り、アドバイザーの選定・依頼、啓蒙のためのセミナー企画・運営、実際の窓口業務に関わる全ての業務、というように多岐にわたるため、地域をよく知っているとともに、推進力をもつ専任の事務局であることが望ましい。

### (2) 関係者の組織化、啓蒙

行政をはじめとして、地域のボランティアセンター、NPO センター、図書館や公民館などの公共施設、地元商工団体、金融機関など、実施地域の主要関係者に相談会の趣旨を伝え、委員会などへの参加を呼びかけ協力体制をつくる。

地域によってコミュニティビジネスへの理解の温度差があるため、関係者への啓蒙は丁寧に行い、その必要性や意義への理解者を増やすことがコミュニティビジネスを健全に育む土壌作りにつながる。

実際の業務は、事務局主導で進め、関係者はオブザーバー的な関わりの中で、定期的に委員会を開き、経過報告をするとともに、相互に意見交換ができる仕組みを整える。

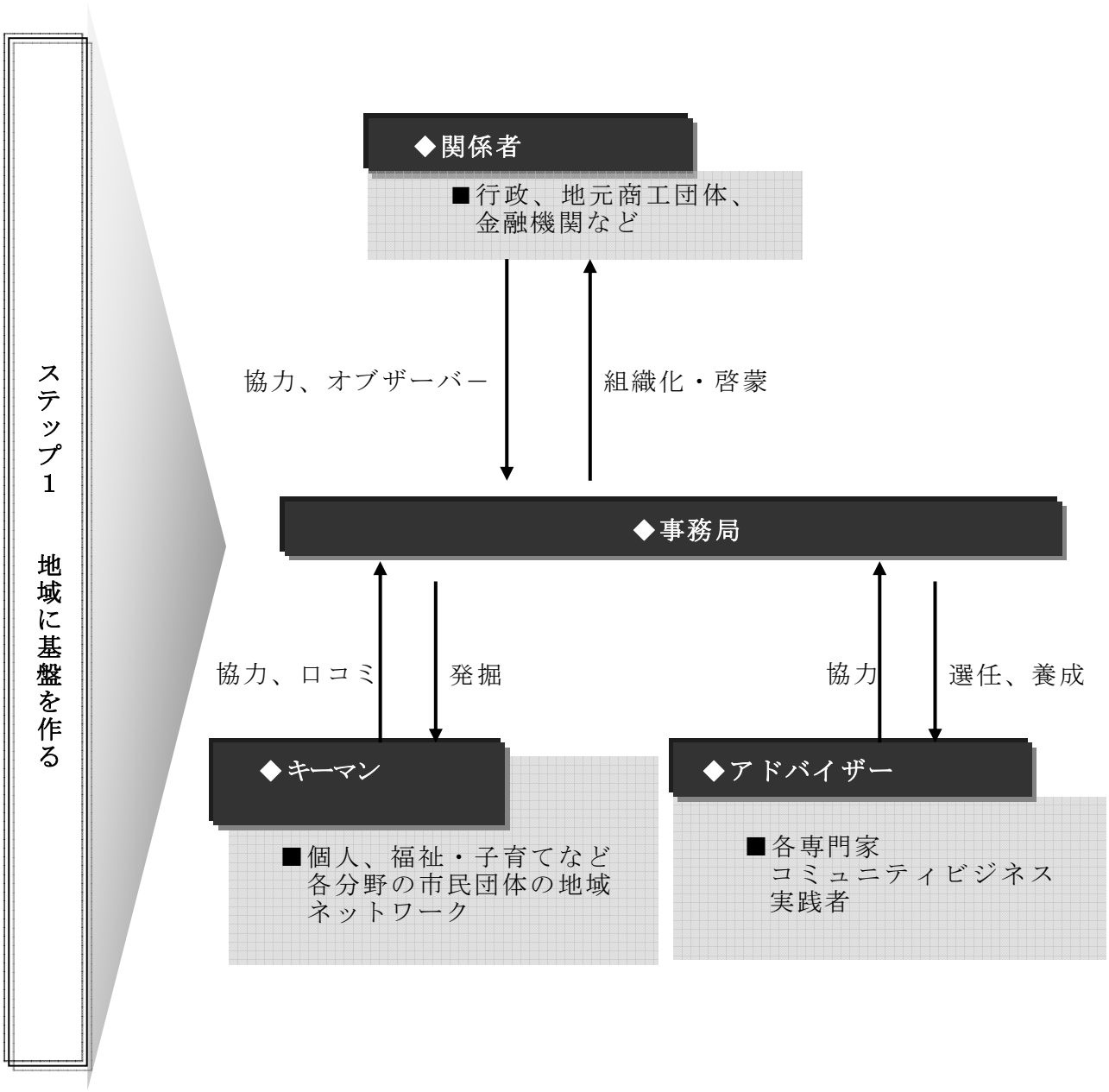
### (3) 地域のキーマン（個人、ネットワーク）発掘

アドバイザー候補、コミュニティビジネス起業・就業予備軍として、また相談会をクチコミし地域への浸透を促す協力者として、地域のキーマンや既存の市民活動・NPO などのネットワークを発掘することが大切である。

そうした層に相談会の趣旨を説明し賛同を得ることが地域密着の相談窓口の成功ポイントである。

### (4) アドバイザー選任、養成

各専門家、コミュニティビジネス実践者などからなるアドバイザーを選定し依頼する。アドバイザーには、一般的な起業とは異なるコミュニティビジネス特有の考え方や知識を有することが求められる。そうした要素が不足している場合は事前に講座などによってコミュニティビジネスのためのアドバイザーを養成することも必要である。


ステップ1　地域に基盤を作る
◆関係者
■行政、地元商工団体、金融機関など
協力、オブザーバー
組織化・啓蒙
◆事務局
協力、口コミ
発掘
協力
選任、養成
◆キーマン
■個人、福祉・子育てなど各分野の市民団体の地域ネットワーク
◆アドバイザー
■各専門家
コミュニティビジネス実践者

## ２．ステップ２　窓口開催への助走

### (1) 相談窓口実施場所の確保

一定の場所で継続した相談窓口が開催できるような場所を確保する。あわせて相談窓口の雰囲気作りも工夫し、利用しやすく親しみやすい雰囲気作りに配慮する。相談窓口を、気軽に足を運べるオープンな場所作りにつとめ、グリーンを配しBGMを流すなどリラックスした雰囲気にすることも大切である。

### (2) 実施スケジュール決定

相談受付曜日、時間帯を決定する。仕事をもつ相談者も利用できるように、夜間や、土曜または日曜の相談窓口も実施する方向でスケジュールを調整する。

### (3) アドバイザー体制の決定

事務局も参加のアドバイザー間のメーリングリストを開設する。それぞれの相談会の状況を把握することによって、互いのノウハウ共有の場とする。
相談者の案件によっては、複数のアドバイザーでグループを組み、各専門分野を総合したアドバイスを行う体制もとれるようにする。

### (4) 情報収集、情報提供システムの整備

コミュニティビジネスの先進事例、助成金などの支援情報など情報を収集・データベース化し、適宜、提供できるよう準備を整える。
または、そういう情報を得ることの出来る場所やHPの一覧をまとめた資料を作成し、希望者に渡せるように用意する。
地域独自のコミュニティビジネスのポータルサイトを開設するなどして情報の受発信を行うのも一つの方法である。

### (5) 各種ツール作成

○相談会用ツール　※巻末資料参照

**相談者エントリー用紙**…相談会に先立ち、相談者がプロフィール、相談内容の概要を記入するもの。適任のアドバイザーへのマッチングや事前準備のために活用する。

**相談カルテ用紙**…アドバイザーが、担当した相談の内容、アドバイスなどを記録するもの。

**フィードバックアンケート**…相談後の進捗状況を把握するためのアンケート。相談を受けたあと、２～３ヶ月後をめどに送付し、相談会の効果および今後へのフォローの必要性を判断することを目的とする。

○広報チラシ
○セミナーマニュアル

## (6) 広報

相談窓口の成功のためには、いかに地域に相談窓口の存在を浸透させるかが重要である。チラシはもちろん、そのほか、自治体の広報誌・HP、地域ポータルサイトでの情報発信、地域ネットワークを介した口コミなど、複数の媒体を活用して広報につとめる。プレスリリースなどマスコミへのアプローチも同時に行う。

## (7) コミュニティビジネス起業、就業予備軍の発掘

コミュニティビジネスセミナーを行い、起業・就業予備軍を発掘する。単発のものよりも、３回コースなど複数回のカリキュラムを行うことが望ましい。起業予備軍の場合は、簡単な事業プランを作成するところまでセミナーで進めておくと、その後の事業への組み立てを相談窓口で引き続き行うことによって、事業実現の可能性が高くなる。

## ３．ステップ３　相談窓口事業実施

ここまでの準備、助走を経て、相談窓口は以下の手順で実施する。
事業の流れの詳細は、次ページの図を参照。

### (1) 予約受付

電話、メール、FAX 用いて、事前予約制とする。
※体制が整えば、当日窓口にて受付をしても可能である。

### (2) エントリーシート送付、回収

メール添付、または FAX にて相談者にエントリーシートを送付し回収する。
※エントリーシートの内容は巻末資料参照。

### (3) 相談マッチング

回収したエントリーシートの内容を見てアドバイザーをマッチングしスケジュール調整を行う。

### (4) 相談（相談シート作成）

相談中はアドバイスシートを活用するなどして、ポイントを整理しながらアドバイスを行う
※アドバイスシートは本章 4－2 を参照

### (5) 相談カルテ作成

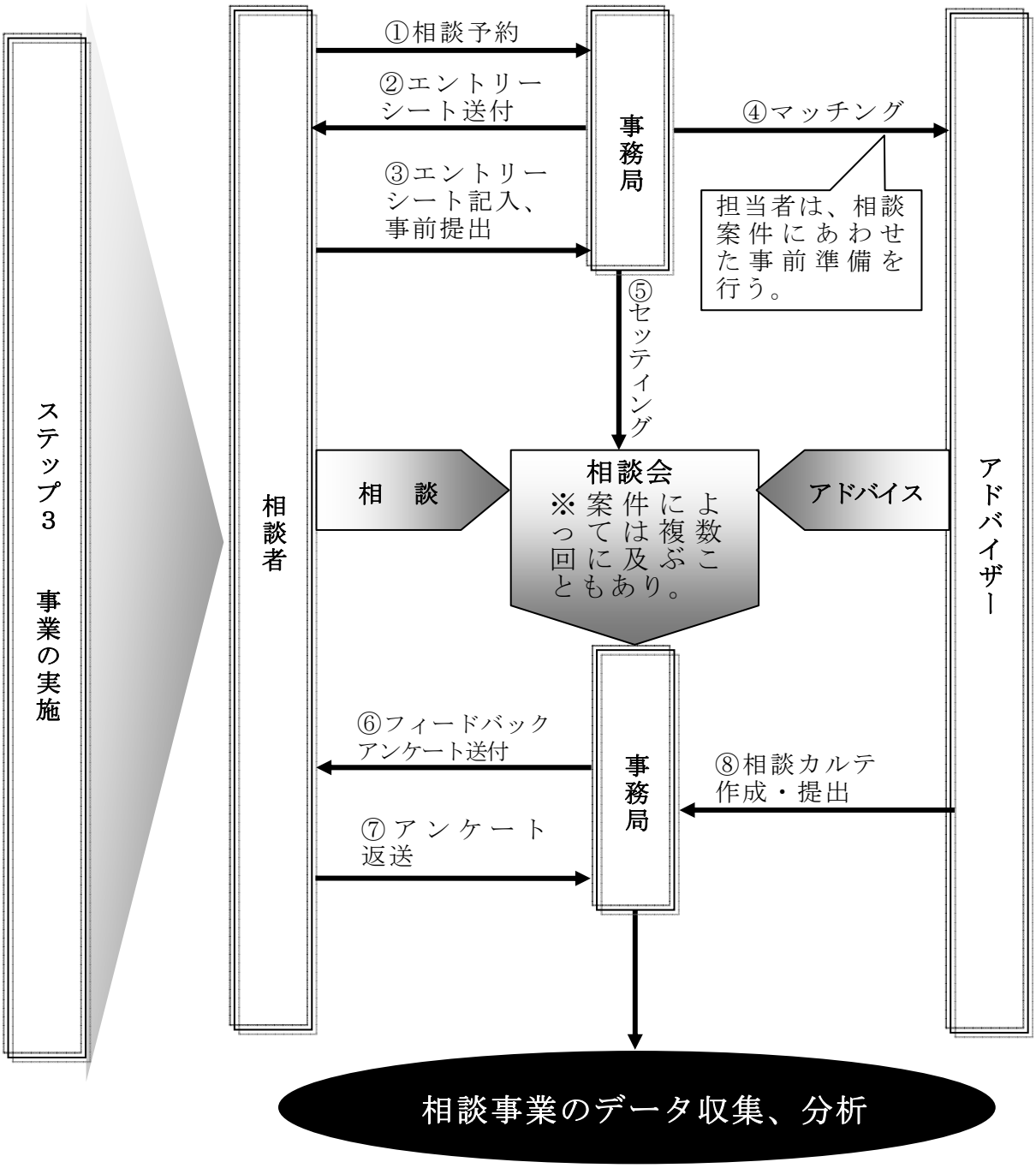
相談後、アドバイザーは相談内容、アドバイスを記録する相談カルテを作成。

### (6) 進捗状況把握

進捗状況を後追いするアンケートを実施。

### (7) フォロー

上記アンケートの結果から実現に向けてフォローが必要な場合は複数回の相談にも応じる。


ステップ３　事業の実施
相談者
①相談予約
②エントリーシート送付
③エントリーシート記入、事前提出
事務局
④マッチング
担当者は、相談案件にあわせた事前準備を行う。
⑤セッティング
アドバイザー
相　談
相談会
※案件によっては複数回に及ぶこともあり。
アドバイス
⑥フィードバックアンケート送付
⑦アンケート返送
事務局
⑧相談カルテ作成・提出
相談事業のデータ収集、分析

### ４．ステップ４　分析、フィードバック

集まったデータを分析し、今後の展開にフィードバックさせる。また相談事例のデータベースとして蓄積し、今後に役立てる。
※各地域ごとに集まったデータについては、集約して整理し地域を越えて提供できる体制を作ることが望ましい。

## ４－２アドバイスシート

相談時にスムーズな流れで相談者の意図を把握するためには、ポイントを押さえた設問を行い、相談者の考えを整理する必要がある。
本実験事業においては、アドバイスシートを作成し、アドバイザーはシートの流れに沿って相談を進めた。その記録は、終了後、相談者に手渡すことにより、アドバイスの有効活用を推進することができた。

また、次ページのアドバイスシートに沿った設問とアドバイスを行うことによって、アドバイザーの力量によってばらつきの見られるアドバイス内容を、できるだけ均一な質のものにするという効果も期待できる。

# アドバイスシート

主体団体名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿平成　　年　　月　　日

| 相談時のチェックシート | アドバイザーからのアドバイス |
|---|---|
| 1　自分の思い（動機・理念・志） | |
| 2　パートナー・協力者はいるか<br>・内部（パートナー・共同経営者・家族など）<br><br>・外部（協力者・商工会議所・行政など） | |
| 3　どこの地域で行うか（活動拠点と活動範囲） | |
| 4　その地域の課題はなにか（現状分析） | |
| 5　どうすればその課題を解決できるか（解決策） | |
| 6　その地域で活用できる資源はあるか（名産品・観光地など） | |
| 7　その上で、なにをやろうとしているのか（事業コンセプト） | |
| 8　どんな人たちを対象にするか（受益対象者・顧客） | |

| | |
|---|---|
| 9　そのやりたい事が周囲に受け入れられるか（ニーズ・マーケット） | |
| 10　同じ地域に似たような活動をしているものはいるか<br>（競合分野・競争相手・ニッチを狙えるか・差別化を図れるか） | |
| 11　自分にできる事（能力・才能・職業経験・趣味など） | |
| 12　自分にできない事・足りない事<br>（経理・手続き等・他人に依頼したほうが良いもの） | |
| 13　資金について<br>（自分で用意できる資金・補助金・借入金など） | |
| １４　どのような組織で事業を行うか<br>（個人事業・会社・ＮＰＯ法人・事業組合など） | |
| 15　どのような事業で収益をあげるか（事業コンテンツ）<br>・・ | |
| 16　活動に対する規制・許認可の確認 | |
| １６　どのように売上をあげていくか（販売計画） | |
| １５　事務所・備品・管理運営費<br>（準備できる事務所、土地・建物・パソコン・机・備品・パート等） | |

| | |
|---|---|
| その他相談事項 | |

# おわりに

このコミュニティビジネスワンストップ相談窓口は、半年間の実験事業でしたが、その間、さまざまな相談者の皆さんとの出会いがあり、同じ目線で、ともに考え、コミュニティビジネスの起業・就業に向けて、ともに進み、現場の声を肌で感じる貴重な体験をつむことができました。

一般的な起業支援の相談窓口はすでに多くの前例がありますが、コミュニティビジネスという切り口の相談窓口を始めるにあたって、従来の相談窓口とどこが違うのか、どういう工夫が必要なのか、ひとつひとつ検証しながら事業を組み立ててきました。

そうして得られた経験を元に、成果としてまとめたのが本報告書であり、第 4 章では実施モデルを提案しました。

今後、相談窓口事業を実施する各地のご担当の皆さまに、本報告書の内容を参考にしていただければ幸いです。

特定非営利活動法人
コミュニティビジネスサポートセンター

# ～巻末資料～

## ■広報・PR 先一覧

### １． 千代田区常設窓口

#### (1) ちらし配布先

１.東京ボランティア・市民活動センター３０部、３０部(２回)
２.武蔵大学学生生活課・就職課、社会学部　１００部
３.三鷹市市民協働センター２０部（三鷹市）
４.レストランサラ（立川市のコミュニティレストラン）３０部
５.カフェスロー（国分寺市のフェアトレードのコーヒーショップ）３０部
６.日本ＮＰＯセンター（東京都千代田区）１０部
７.多摩中央信用金庫ブルームセンター（東京都八王子市）１０部
８.ＮＰＯ法人さなぎ達（神奈川県横浜市）３０部
９.ＳＯＨＯフェスタ　in Mitaka（三鷹市）２０部
10.ＮＰＯ事業サポートセンター（港区）３０部
11.介護者サポートネットワークセンター・アラジン（港区）２０部
12.杉並ＮＰＯ・ボランティア活動推進センター（杉並区）３０部
13.事業型 NPO マネジメント IT 活用科（新宿区）２５部
14.千代田ボランティアセンター５０部
15.千代田区中小企業センター３０部
16.蕨市民会館３０部
17.千代田区立千代田図書館２０部
18.千代田区立四番町図書館２０部
19.千代田区立内神田社会教育会館
20.ちよだパークサイドプラザ２０部
21.千代田区立九段社会教育会館２０部
22.文京区社会福祉協議会２０部
23.台東区社会福祉協議会２０部
24.中央区社会福祉協議会２０部
25.葛飾区役所２０部
26.テクノプラザ葛飾２０部
27.江戸川区ボランティアセンター２０部
28.多摩市立永山公民館３０枚（地域貢献ビジネス講座の開催場所）
29.調布市社会福祉協議会　ちょうふ市民・ボランティア活動センター３０部
30.世田谷文化生活情報センター生活工房市民活動支援コーナー３０枚
31.八王子市市民活動センター３０部
32.府中 NPO・ボランティア活動センターちらし３０部

33.中野ボランティアセンター３０部
34.コミュニティケア活動支援センター３０部
35.人と組織と地球のための国際研究所（ＩＩＨＯＥ）３０部
36.国立市ボランティアセンター３０部
37.いちかわ情報プラザ３０部
38.多摩市障害者支援センターのーま２０部
39.港区ボランティアセンター２０部
40.新宿区社会福祉協議会 ボランティア・センター２０部
41.品川ボランティアセンター２０部
42.大田ボランティア・センター２０部
43.世田谷ボランティア協会２０部
44.しぶやボランティアセンター２０部
45.北区NPO・ボランティアぷらざ２０部
46.八王子市ボランティア・センター２０部
47.市民活動センターたちかわ２０部
48.ボランティア・センター武蔵野２０部
49.みたかボランティア・センター２０部
50.府中ボランティアセンター２０部
51.昭島ボランティア・コーナー２０部
52.町田ボランティア・センター２０部
53.小金井市社会福祉協議会 ボランティア・センター２０部
54.小平市社会福祉協議会 ボランティア・センター２０部
55.日野市ボランティア・センター２０部
56.東村山ボランティアセンター２０部
57.ボランティア活動センターこくぶん２０部じ
58. 西東京ボランティア・市民活動センター２０部
59. ふっさボランティア・市民活動センター２０部
60. こまえボランティア・センター２０部
61. 東大和市ボランティア・センター２０部
62. 清瀬市ボランティア・センター２０部
63. 東久留米市ボランティア・センター２０部
64. 武蔵村山市ボランティアセンター２０部
65. 多摩ボランティアセンター２０部
66. 稲城市ボランティア室２０部
67. 羽村市ボランティアセンター２０部
68. あきる野市社会福祉協議会 ボランティアセンター２０部
69. ボランティアセンター みずほ２０部
70. 日の出町ボランティアセンター２０部
71. 檜原ボランティアセンター２０部
72. 横浜市ボランティアセンター２０部

73. 財団法人　かわさき市民活動センター２０部
74. かながわ県民活動サポートセンター１１階情報コーナー２０部
75. 川口ボランティアサポートステーション３０部
76. 埼玉県創業ベンチャー支援センター３０部
77. 江戸川区ボランティアセンター１０部
78. 西日暮里スタートアップオフィス２１部
79. （財）川崎市産業振興財団産学連携推進課１０部
80. MINATOインキュベーションセンター３０部
81. 大田区産業プラザビックあさひ３０部

## (2) 講座、シンポジウムでの配布

１.東京都商工会連合会（東京都立川市）創業支援セミナー「創業塾」女性起業家向けセミナー３２人
２.ＳＯＨＯフェスタ　in Mitaka（三鷹市）２０人
３.我孫子市コミュニティビジネス講座２０人
４.千葉市コミュニティビジネス講座１５人
５.上智大学コミュニティビジネス講座３０人
６.蕨市学びあいカレッジ３０人
７.多摩大学アートマネジメント２０人
８.千代田区イノベーションカレッジ２０人
９.多摩コミュニティビジネスシンポジウム２０人
10.小平市コミュニティビジネス講座　３０部
11.小金井市　市民起業セミナー　４０部
12. 埼玉県戸田市まちづくり市民コンサルタント講座　１０部
13. 多摩市地域貢献ビジネス講座　２０部
14. 北区コミュニティビジネス講座　３０部
15. 千代田区コミュニティビジネス講座　２０部
16. 世田谷区コミュニティビジネス講座　３０部
17. 埼玉商工会議所　地域貢献講座　２０部
18. 埼玉労働局　コミュニティビジネスシンポジウム　２００部
19. 相模原・町田コミュニティビジネスシンポジウム　３０部

## (3) ネット掲示板・メルマガ・メーリングリスト

※人数は目安

１.コミュニティケア活動支援センター（１００人）
２.ＣＡＣ（社会起業家研究ネットワーク、５０人）
３.日本ＮＰＯ学会（１５００人）
４.月刊の情報誌「市民活動のひろば」に掲載（発行元：市民活動サポートセンター・アンティ多摩（東京都立川市））

５.東京財団のメーリングリスト（７００人）
６.ＮＰＯ法人キープラネットメーリングリスト(３００人)
７.ＮＰＯ法人コミュニティビジネスサポートセンターメールマガジン(３００人)
８.広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会メーリングリスト(５００人)
９.関東経済産業局コミュニティビジネスメールマガジン（１０００人）
10.ＳＯＨＯ協会メールマガジン(３００人)
11. ＮＰＯ／ＮＧＯ　ＷＡＬＫＥＲ　メールマガジン掲載
12. つなぎｉネット　掲載依頼
13. 東京ボランティア・市民活動センター　記事掲載
14. 千代田区ボランティアネット(３００人)
15. 毎日新聞ユニバーサロン
16. ＶｉＶａ（ビバ）ボランティアとＮＰＯのコミュニティサイト
17. ＮＰＯ情報ネットワークセンター
18. 千代田まちづくりサポーターズクラブ　千代田まちづくりサポーターズ
19. 墨田社会福祉協議会
20. ヤフーボランティア
21. 東京都社会福祉協議会

## (4) 紹介・案内先

１.ＮＰＯ関係者約３０名にメールで紹介
２.コミュニティケア活動支援センターの助成先（２０団体）に情報提供

## (5) 新聞にチラシ折込

１．日経新聞　千代田区麹町地区　５０００部折込

## (6) 記事掲載

千代田区福祉協議会の広報誌に記事
アントレ(リクルート)より取材

## (7) プレスリリース

１．バリュープレスにプレスリリースを依頼　５８９媒体へ記事を配信
２．キープラネット　広報誌（発行部数　１０，０００）に広告記事掲載
３．厚生労働省、東京都の報道室、記者室にプレス掲載依頼
　（朝日新聞、日経新聞、東京新聞より問合せあり→記事掲載はナシ）

## ２． 出張窓口

### (1) 小平

チラシ市内公共施設

市報

地域ポータルサイト「こだいらネット」情報コーナーおよびメーリングリスト

NPO 法人小平市民活動ネットワーク機関紙「連」

### (2) 北区

チラシ市内公共施設

区報

# ■相談用シート

## ・エントリーシート（相談者記入用）

| ◆相談日平成　年　月　日 | ◆予約時間:AM/PM　: | ◆相談分類:a. 起業 b. 就業 c. 他(　) |
|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな: | 性別: 男・女 | 年齢:　歳 | 職業: |
| お名前: | 電話: | | 所属: |
| | FAX: | | E-mail: |
| ※差し支えない範囲でお書きください。<br>ご住所:(〒　－　) | 都・県 | 区・市 | |

| ご経歴 | 会社・団体名 | 所在地/活動ｴﾘｱ(市区町村) | 業種/分野 | 職種/主な仕事内容〔組織内での役割〕 | 時期・年数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な職歴・資格 | | | | / | |
| | | | | / | |
| 社会参加歴(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ経験等) | | | | / | |
| | | | | / | |

**■今回、相談してみたいことは何ですか？簡潔にお書きください。**

**◎事前アンケート**（該当するものに○をつけてください。）

◆CB起業の意志【1.ある　2.関心はある　3.関心はない　4.すでに起業した　5.その他(　)】
◆CB就業の意志【1.ある　2.関心はある　3.関心はない　4.その他(　)】
＊起業／就業時期は？【1.すぐ　2.1年後　3.2-3年後　4. 未定　5.その他(　)】

**◆起業または就業を希望する分野**　※複数○可能ですが、特に関心のある項目には◎をつけてください。

A. 福祉【1.高齢者の介護・生活支援　2.障害者の介助・生活支援　3.医療、保健　4.その他(　)】
B. 教育【1.保育、子育て支援　2.青少年教育　3.その他(　)】
C. 環境【1.資源循環　2.自然保護　3.環境学習　4.環境配慮型商品の流通　5.安全な食の流通　6.その他(　)】
D. まちづくり【1.商店街・地域活性化　2.地域金融　3.その他(　)】
E. 人材育成・就業支援【1.高齢者の就業支援　2.障害者の就業支援　3.その他(　)】
F. 商品開発【1.地域特産品の開発　2.環境技術・環境配慮型製品開発　3.その他(　)】
G. 交流【1.観光資源活用　2.グリーンツーリズム　3.男女参画　4.人権擁護　5.国際　6.その他(　)】
H. レクリエーション【1.スポーツ　2.芸術　3.文化　4.歴史　5.その他(　)】
I. 危機管理【1.災害支援　2.その他(　)】
J. ネットワーク【1.情報交流　2.協働推進　3.中間支援　4.その他(　)】
K. その他【　】

**◆起業または就業に必要な知識や技能、資産**などのうち、あなたがすでに現在有していると思うもの
1.資金　2.事務所　3.備品　4.経理　5.総務関係　6.広報　7.IT　8.出版　9.営業　10.イベント企画、実施　11.経営、経営管理　12.人脈、協力者　13.企画書作成　14.マーケティング　15.その他(　)

◆パソコンの使用頻度【1.かなり使用　2.時々使用する　3.あまり使用しない　4.全く使用しない】

**◆何を見てCBワンストップ相談窓口を知りましたか？**　※(　)内に具体名をお書きください。
1.チラシ(　)2.HP(　)3.ML(　)4.メルマガ(　)5 市区報(　)
6.口コミ(　)7.セミナーから(　)】

**◆CBワンストップ相談窓口をお知りになる前に、「コミュニティビジネス(CB)」を知っていましたか？**
1.詳しく知っていた　2.ある程度知っていた　3.聞いた事はあった　4.聞いた事もなかった

※エントリーシート裏面

◎相談後アンケート　※今後の参考のため、アンケートにご協力ください。

〔お名前：　　〕

◆ワンストップ相談窓口を利用して

【1.大変勉強になった　2.まあまあ勉強になった　3.あまり勉強にならなかった　4.全く勉強にならなかった】

◆起業意識について

【1.高まった　2.変わらない　3.その他

（　　）】

＊起業しようと思う方、その時期は？　時期（平成　　年　　月頃）

◆就業意識について

【1.高まった　2.変わらない　3.その他

（　　）】

＊就業しようと思う方、その時期は？　時期（平成　　年　　月頃）

◆本日のアドバイス内容について

【1.とても参考になった　2.ある程度参考になった　3.あまり参考にならなかった　4.全く参考にならなかった

（→具体的に：　　）】

◆コミュニティビジネス（コミュニティビジネス）に関する勉強会や講座について

【1.とても興味がある、参加してみたい　2.まあまあ興味がある　3.あまり興味はない　3.全く興味はない】

◆その他、ご要望などありましたらお書きください。

・相談カルテ（アドバイザー記入用）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな:<br>相談者名: | 性別: 男・女<br>年齢: 歳 | 住所:都・(　　)県<br>(　　区・市) | ◆分類:a. 起業 b. 就業 c. 他(　)<br>◆相談回数: 第(　)回【一般／専門】 |
| ◆相談日:平成　年　月　日 | AM/PM　:　～終了　: | | ■アドバイザー名<br>印 |
| 〔事前記入〕予約:　月　日(Tel・Fax・e-mail・前回・紹介) | | 受付者: | |

| | |
|---|---|
| ●起業／就業の目的・動機 | 〔事後記入〕※起業/就業(済・意志有、意志無・未定)<br>⇒次回予約(有・無) |

●起業／就業を希望する分野
A.福祉　B.教育　C.環境　D.まちづくり　E.人材育成　F.商品開発　G.交流　H.ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ　I.危機管理　J.ﾈｯﾄﾜｰｸ　K.その他　(備考:　　)

●事業内容(具体的に:商品・サービス・技術等)

| ■相談内容 | ■アドバイス内容 |
|---|---|
| | |

## 相談カルテ（裏面）

◆**相談日**：平成　　年　　月　　日　◆相談者名：　　◆ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ名：　　）

| ■相談内容 | ■アドバイス内容 |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| ◆次回相談日時：平成　　年　　月　　日 AM/PM　　時　　分～　　時　　分予定 | |
|---|---|
| ◆次回相談事項 | ◎ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　要調査・準備事項 |

〔事後記入〕

■現在の状況：

○起業／就業の意志【1.大いにある　2.ある　3.あまり感じられない　4.ない】

○現在のステージ【1.開業直前　2.ビジネスプランある　3.ある程度イメージはある　4.漠然としている】

○起業／就業の可能性【1.可能性高い、積極支援　2.可能性あり、継続支援　3.可能性小さい】

〔数週間～数ヵ月後記入：経過報告受付時〕

■フィードバック内容

（起業/就業の可能性、達成度、起業/就業後の状況/相談希望－上記欄へ記入）

平成　　年　　月　　日〔Tel・Fax・e-mail・来訪／ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸｼｰﾄ提出【有・無】〕：

## ・フィードバックアンケート

２００５年３月上旬、相談者にその後の経過を確認するため、以下の内容のアンケートをメール、FAX にて送付。

※アンケート内容
１．相談後の状況をお聞かせください
（Ａ，Ｂ，Ｃから１つお選びください）

Ａ．起業相談
（ａ）構想中
（ｂ）起業準備中
（ｃ）すでに起業した
（法人設立を申請した、法人格を取得した、事業を開始した）
※自由にお書きください（いつ、どこで、どういう団体を起業した）
（　　）

Ｂ．就業相談
（ａ）構想中（就業している・失業中）
（ｂ）就業準備中（就業している・失業中）　　○
（ｃ）すでに就業した
※自由にお書きください（いつ、どこで、どういう団体に就業した）
（　　）

Ｃ．新規事業相談
（ａ）構想中
（ｂ）新規事業の準備中
（ｃ）すでに新規事業を開始した
※自由にお書きください（いつ、どこで、どういう新規事業をはじめた）
（　　）

２．相談後、計画は前進しましたか？
（ａ）前進した
（ｂ）後退した
（ｃ）変わらない

３．４月以降、コミュニティビジネスワンストップ相談窓口を継続したら利用しますか？
（ａ）利用する
（ｂ）利用しない
（ｃ）わからない
４．コミュニティビジネスサポートセンターへの意見や要望がありましたら、お書きください。